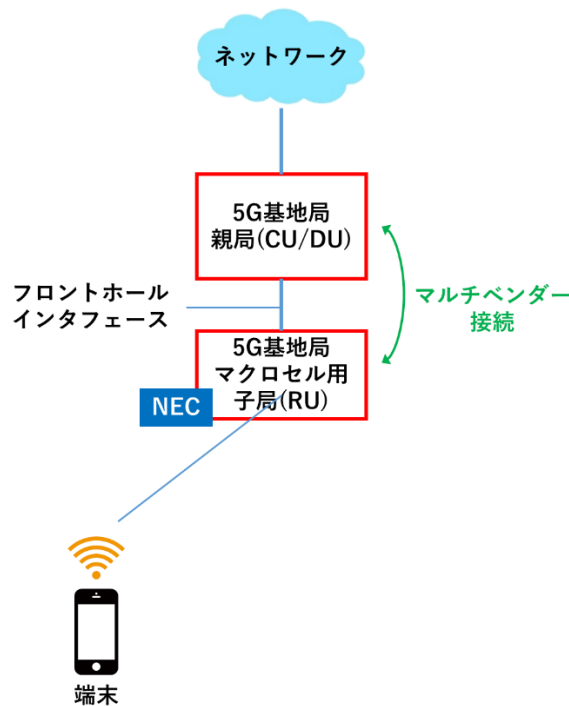
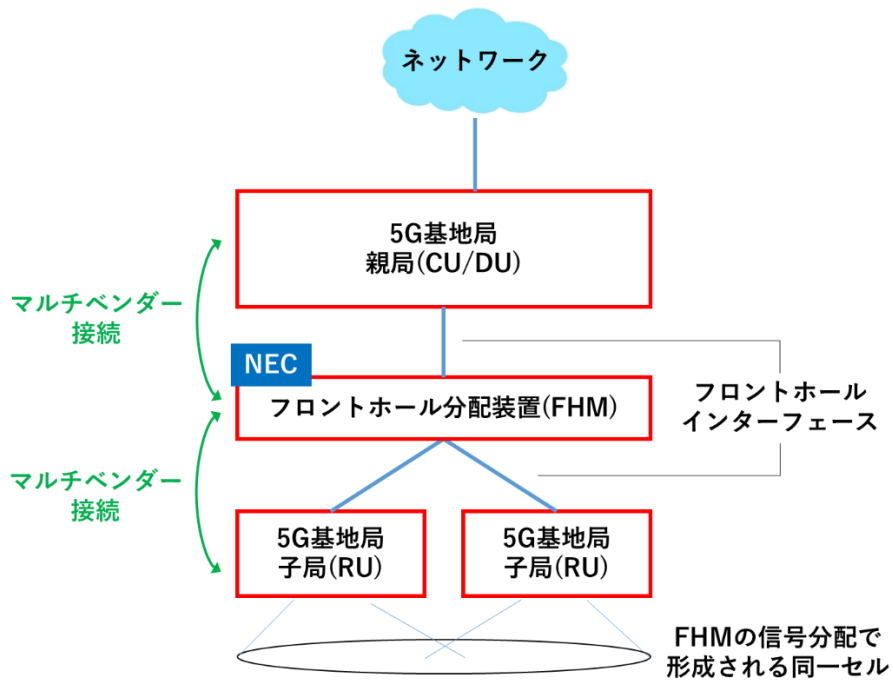


マルチベンダー接続に成功した 5G 基地局の概要

NEC とサムスン電子が提供する 5G 基地局装置は、O-RAN のオープン X2 仕様^{※1} とオープンフロントホール仕様^{※2} を用いて、ドコモの全ての 4G 基地局および全ての既存 5G 基地局装置とマルチベンダー接続が可能です。NEC とサムスン電子のパートナーシップによる 5G 基地局親局で成功したマルチベンダー接続の構成は本文の図で示した通りで、以下は NEC のマクロセル用の 5G 基地局子局で成功したマルチベンダー接続の構成です。



加えて、5G 基地局の親局と子局を接続する際、複数の子局を用いて単一のエリアを形成するためにフロントホール信号を複製・合成するフロントホール分配装置 (FHM) を使用しますが、NEC が提供する FHM も全ての既存 5G 基地局装置と組み合わせで動作することも検証しています。



<各社の役割>

ドコモ: 試験項目の選定、マルチベンダー試験の実施、試験結果の解析

NEC、サムスン電子: 5G 基地局装置の提供、試験結果の解析

※1 X2 仕様とは 4G・5G 基地局間をつなぐネットワークの仕様です。

※2 フロントホール仕様とは 5G 基地局の親局・子局間をつなぐネットワークの仕様です。